

学校だより 11月号

あいかわ



発行所 厚木市立相川小学校
発行者 中村 明子
発行月 平成 29年 11月
児童数 11月10日現在 199名
電話 046-228-2610

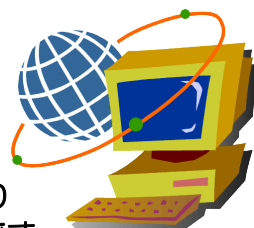
子ども達を危険から守れる自信はありますか？

校長 中村 明子

10月末に飛び込んできた座間市の9人殺害遺棄事件は、その後の捜査により、衝撃的な事実が次々と明らかになっていきます。そのニュースに触れるたびに、容疑者の外見の穏やかそうな顔とは裏腹な残酷さへの恐怖と被害に遭われた方たちの無念さを思い、心が張り裂けそうになります。おそらく、保護者や地域の全ての方が感じていらっしゃるのだと思います。

事件の動機や容疑者の深層心理については、今後もさまざまな形で究明され、報道されていくことでしょうが、この事件で一番感じたのは、「大人として、子ども達の命をさまざまな危険から守ってけるのだろうか？」ということでした。

その一つが、パソコンやスマホ・ケイタイの存在です。この事件では、ツイッター利用により加害者と被害者がつながる、という構図が明確になりました。電波を通じて誰とでもつながることができる現代社会だからこそ起こり得た事件だともいえます。



匿名で行われるツイートで、相手を簡単に信用できてしまうとか、電話のやり取りだけで優しい人だと判断し、恋愛感情を抱いてしまうとか、あり得ないことのように、救いを求めている人にとって自分を心配してくれる人は、救世主のような存在となってしまうのかもしれない。

実は、スマホやゲームなど、インターネット端末を利用する中で、犯罪に巻き込まれる小学生は増加傾向にあります。ゲームのコミュニティ・サイト等では、大人が子どもになりすまして子どもを信用させ、子どもに危害を加える事案が多く発生しているそうです。子どもをだますという目的をはっきりと持ち、知恵を働かせる大人に、子どもが太刀打ちできるはずありません。

では、私達教員や保護者・地域が、子ども達をネットの危険から守るためにはどうすればよいでしょう。それは、正しい使い方だけではなく、どこにどういう危険が潜んでいるのかをしっかりと理解し、それを子ども達に正しく伝えていくことです。

生まれた時からネット環境に育ち、これからのAI（人工知能）の世の中を当たり前のように生きていく子ども達。そのスキルは大人の上をいく場合もあります。ですから我々大人は、それに遅れをとらないように正しい知識を学んでいくしかありません。



本校では、1学期、全児童と保護者の皆様にスマホ・ケイタイ等のインターネット端末活用のアンケートを実施しました。前述してきたような犯罪だけではなく、いじめや友達同士のトラブルに巻き込まれないための正しい活用の仕方を保護者や地域の方と共に考えたかったからです。

その結果を踏まえ、本校では、NTTドコモの方による講話「スマホ・ケイタイ安全教室」をメインにした学校保健委員会を次の通り開催いたします。

○日時 平成 29年 11月 20日（月） 15:00～
○場所 4F ランチルーム

<問合せ・申込み>
相川小学校 TEL228-2610
(教頭)

多くの保護者・地域の皆様にぜひご参加いただき、一緒に学んでいただきたいと思います。安全な環境の中で、正しく楽しくスマホやケイタイを活用する方法を、私達が子ども達に自信を持って指導していくために、たいへん有意義な時間となるはずです。

<正しい自転車の乗り方を！>

正しい知識がない状態での道路の走行は自殺行為です。今一度、お子さんとともに先日配付したリーフレットで、交通ルールをご確認いただき、実際に走行しながら正しい自転車の乗り方をご指導ください。

Play back～学校へ行こう週間～

10月16日～21日までの学校へ行こう週間では、約300人の来校がありました。ありがとうございます。特別授業の参観だけでなく、ふだんの授業の様子もご覧いただけたことと思います。1週間の主な行事を振り返ってみましょう。

芸術鑑賞教室

今回は、和太鼓「鼓粹」の方をお迎えしました。様々な種類の和太鼓に子どもたちは目を見張り、お腹の底に響く大きな音に驚いていました。

ワークショップではクラスの代表児童が、鼓粹の方と一緒に演奏しました。



世代間交流ふれあい給食会

相川地区の高齢者の方が、世代間交流ふれあい給食会に来てくださいました。はじめの会で、4年生が踊りとリコーダー奏を披露しました。

また、1～3年生と一緒に給食を食べていただき、昔の子ども頃の話しなどをして楽しく過ごされました。



防犯教室

ALSOCの方をお迎えし、1・2年生対象に防犯教室を行いました。グループごとに「いかのおすし」のキーワードについて考えた後、知らない人にあった時どうしたらよいか教えていただきました。

いかのおすし

知らない人についていかない
知らない人の車（誘い）にのらない
危険なときにはおおごえをだす
危険を感じたらすぐにげる
危なかったことをしらせる



親子ふれあいフェスティバル

クラス委員と本部役員とで、楽しい講座を企画してくださいました。

スノードーム、玉ねぎの皮染め、カボチャランタン、フォトフレームといったふだんできないことを経験することができました。また、ダンスは、テレビにも出るほど有名な方をお迎えしての講座でした。当日はどの講座も大盛況で、親子で楽しいひと時を過ごしていました。委員のみなさん、ありがとうございました。



読書月間

10月は読書月間でした。この期間は、学校図書館の本を1人3冊借りられるとあって多くの子どもが利用しました。一番利用した学年は2年生で、のべ414人でした。読書は世界を広げてくれます。これから夜が長くなります。親子で一緒に読書を楽しむのもいいですね。

読書週間は、1947年11月17日、戦後の世の中を「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という考えのもと、始まったそうです。